

アクアセル Ag BURN

再使用禁止

【警告】

明らかな臨床的創感染を有する患者には慎重に使用すること。
[感染を悪化させるおそれがある。臨床的創感染を有する患者
であっても感染に対する薬剤治療や全身・局所管理をしなが
ら創傷被覆材を併用することが有益と医師が判断する場合に
は、局所の観察を十分に行い、慎重に使用すること。]

＊ 【禁忌・禁止】 再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

1. 形状及び構造

本品は、繊維状のカルボキシメチルセルロースナトリウムのナトリウムイオンを銀イオンで部分的に置換して製した、繊維状のカルボキシメチルセルロースナトリウム銀100%から成る不織布に、ナイロン糸でステッチ加工をした創傷被覆・保護材である。滲出液を吸収・保持し、その被覆材内と創部接触部位にて抗菌効果を示す抗菌性材料の創傷被覆・保護材である。灰色のシートタイプである。

名 称	原材料名
不織布	カルボキシメチルセルロースナトリウム銀
糸	ナイロン66

2. 機能及び動作原理

本品は、滲出液を吸収・保持してゲルを形成し、創部を外部から保護し、また生体が本来有している自然治癒力を促進させる湿潤環境を形成する。ゲル状になった本品は、創部に固着せず、剥がすときに新生した組織に対する影響は少ない。

本品は、ナイロン糸でステッチ加工を施しているため、伸縮性があり被覆材を柔らかい状態に保ち、貼付部位の可動を妨げないことから、II度熱傷への使用に適している。

また、本品は、滲出液を吸収・保持した時、その被覆材内の滲出液中に銀イオンを遊離し、存在する細菌に対して抗菌効果を示す。

【使用目的又は効果】

- ・真皮までの創傷に対する「創の保護」、「湿潤環境の維持」、「治癒の促進」、「疼痛の軽減」を目的とする。
- ・本品は、感染を引き起こす可能性が高く滲出液を伴う創傷に使用すること。

＊ 【使用方法等】

- 1) 必要に応じて創傷部を消毒後、生理食塩液等で洗浄する。本品の交換を行う場合にも、この処置を行うこと。
- 2) 創縁部より若干大きく、創周囲の皮膚を被覆できる大きさの本品を選ぶ。
- ＊ 3) 滲出液が少なくゲル化が十分に起こらないと予想される創傷には、本品をあらかじめ生理食塩液等で湿らせてゲル状態にしてから使用すること。
- 4) 本品を創部に直接貼付する。
- 5) 必要に応じて本品の上から吸収性パッドなどの二次ドレッシングで覆い、包帯などで固定する。

6) 臨床上必要と判断された場合、あるいは滲出液の飽和や漏れ、本品が乾燥し脱落した場合は、本品を交換する。

- ・皮膚から剥がす際に、本品が完全に剥離できるように、必要に応じ滅菌生理食塩液等であらかじめ濡らしてから除去する。
- ・本品を除去する際には、ステッチが入っている縦方向に剥がすと除去しやすい。
- ・創が再上皮化するに従って、本品は自然に剥がれて、除去しやすくなる。

＊ 【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- ＊ 1) 本品又は本品の構成成分に対して過敏な人又はアレルギー反応を有する人に、本品を使用してはならない。
- 2) 本品の使用中に、創部に本品が原因と推察される治癒遅延が起きた場合には、使用を中止し、適切な治療を行う。
また、患者の全身状態の悪化、全身管理の不足等によっても、創部に感染症状が現れることがある。感染の兆候に十分注意し、臨床的感染が認められた場合には、原則として使用を中止し、適切な治療を行うこと。
- 3) 本品を使用中に皮膚障害と思われる症状が現れた場合には、使用を中止し、適切な治療を行うこと。
- 4) 本品は無菌的に取扱うこと。
- 5) 十分な観察の下に使用し、累積30日を超える長期使用は避けること。
- 6) 本品は局所感染治療を目的とするものではない。

2. 不具合・有害事象

- ＊ 1) 一般的な創傷被覆・保護材の使用において、以下の「有害事象」が起こる可能性がある。
＜その他の有害事象＞
・創の感染症状
・創傷及び周囲の皮膚障害（表皮剥離、浸軟、浮腫、水疱、発赤、びらん、そう痒、アレルギー、接触性皮膚炎）
・固着
・壊死組織の増加
・疼痛
- ＊ 2) 一般的な銀による「有害事象」として、皮膚における黒染が報告されている。

＊ 3. その他の注意

- ＊ 1) 使用後は感染防止に留意し、安全な方法で廃棄すること。
- 2) 本品は局所管理の目的で使用されることから、褥瘡に使用する場合、体位変換や栄養の改善等も同時に実施する必要がある。また、本品を使用した場合でも、従来の全身管理は必ず継続すること。
- 3) 創部の状態によっては、本品交換時に不快なおいがしたり、出血による血液が見られることがあるので、注意して創部を観察すること。
- 4) 本品の貼付により痛みがなくなるわけではない。
- 5) 多量の滲出液を伴う創に本品を使用した場合、創部の辺縁皮膚が浸軟することがあるので、適切な交換時期で交換すること。
- 6) 痂皮や壊死組織が取り除かれて創部が拡大したように見えることがある。
- 7) 創部から出血が見られる場合には必ず止血処置を行うこと。

***【保管方法及び有効期間等】**

保 管 方 法：室温保存

*保管の条件：高温、多湿、直射日光を避ける。

*有 効 期 間：外箱Exp参照（自己認証による）

*使 用 期 間：臨床上必要と判断された場合、あるいは滲出液の飽和や漏れ、本品が乾燥し脱落した場合は、本品を交換する。

****【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

****製造販売元**

コンバテック ジャパン株式会社

 0120-532384

****製造元：ConvaTec Limited**
コンバテックリミテッド
英国

© 2023 ConvaTec Inc.